

開講科目名 Course	労働法研究 (A) / Labor Law (A)
時間割コード Course Code	13250
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	木 / Thu 6
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	榊原 嘉明
科目区分 Course Group	企業関係法科目群
教室 Classroom	
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	榊原 嘉明 (法学部)
授業の目標	
授業の概要	<p>【到達目標】</p> <p>労働法は、労働者として自らの身を守る上でも、経営者として労務管理等を適切に遂行する上でも、とても重要となる法である。</p> <p>本授業では、i)労働法の基本的なものの考え方を理解するとともに、ii)労働者・使用者の立場から、実際に雇用の場で問題に遭遇したときに、法的に考え、解決策を導きだすことのできる力を身につけることを目標とする。</p> <p>【授業方法】</p> <p>各テーマ、(1)事例問題に基づいたグループ・ディスカッション (課題共有) と(2)テキスト講読 (内容理解) の2つのセッションで実施する予定である (「オンデマンド」と「Zoom」の併用を予定)。</p> <p>なお、授業は、指定したテキストとGoogle Classroomを通じて配布したプリントにしたがって進める。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 労働条件決定システムと法 2. 人事考課 (1) 3. 人事考課 (2) 4. 昇進・昇格、降格 (1) 5. 昇進・昇格、降格 (2) 6. 配転 (1) 7. 配転 (2) 秘密保持義務・競業避止義務 8. 懲戒処分 (1) 9. 懲戒処分 (2) 10. 労働者に対する損害賠償請求 (1) 11. 労働者に対する損害賠償請求 (2) 12. 秘密保持義務・競業避止義務 (1) 13. 秘密保持義務・競業避止義務 (2) 14. 解雇 (1) 15. 解雇 (2) <p>授業内容は、必要に応じて、変更される可能性がある。</p> <p>【評価方法】</p> <p>「授業参加度」(授業中課題・予習課題の作成を含む)により評価し、期末の試験やレポート提出は行わない。</p>

評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	水町勇一郎『労働法〔第8版〕』（有斐閣、2020年） 村中孝史＝荒木尚志編『労働判例百選〔第9版〕』（有斐閣、2016年
参考書	） 日本ワークルール検定協会編『ワークルール検定問題集』（旬報社）
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	